

2023 年度 静進情報高等専修学校
自己点検・評価項目および評価報告書

1. 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	④ 3 2 1			
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	④ 3 2 1			
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	④ 3 2 1			
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	4 ③ 2 1	若く新しい教員も少なくないため、教育理念が浸透しているとまでは言い切れない。本質を大切にしながら意識を継続していくことが課題となる。 生徒の多くは常に協力的であり、学校が大切にしたい雰囲気等は各々が感じ取り学校生活を送ってくれている。	学校という職場はある種閉鎖的な社会である為、各々の教員がそのことを自覚し、広く社会的な見聞を求め自己研鑽していく姿勢を失わせない体制を作っていく。学校の雰囲気とは、生徒たちの雰囲気であり、生徒たちの雰囲気を作るのは教員であることを常に自覚させていく。生徒たちには多くの成功体験をしてもらい自己肯定感を高めたいけるよう働き掛けていく。	「青少年の育成」という言葉自体の持つ意味合いが変わってきているのかも知れない。現在、一人歩きしている感のある「多様性」についてどう捉えて対応していくか。様々な常識が変化している現在、今まで通りの教育理念で良いのかどうかも検討する必要があるのかも知れない。

2. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	4 ③ 2 1	柔軟に対応できるようなカリキュラムを組んでいるが、生徒の習熟度の幅が広く、学習以前の生活面において問題を抱える生徒もあり、完全には対応できていない。	今、その生徒が何を求めているのか、を敏感に察知し、提供できる感性を磨くことが重要。また、生徒を最終的にどこに導きたいのかというビジョンを持ち、常に軌道修正していく。	
定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4 ③ 2 1			
テキストや教材は適切なものを選定しているか	4 ③ 2 1	選定教科書に依存することなく、オリジナルの教材作りにも力を入れてきた。数学・理科・社会・英語においてはある程度形になってきたが、まだまだ研究・改良が必要な分野である。	教科担当者の専門的な知識の深化や学びの喜びを引き出すための手法を研究し、生きた教材作りに反映させていくことが求められる。教員が常に勉強していく姿勢を作っていく。	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	4 ③ 2 1	生徒から大きな不満の声は聞こえてこなかったが、定期的な点検・評価というところまでは未達である。	現状の授業スタイルに満足してしまっている面も否定できない。常に生徒たちの学習意欲や探求心に応えていける準備をしていく必要がある。	
資格試験の合格率は	4 ③ 2 1	PC関連の受験者数、合格率はまずまずといったところ。半面、漢字検定や英語検定の受験者が少ない。運転免許における合格率は高かった。	資格試験受験に向けて教員が生徒を口説き切れていない。資格取得に向けた教員の熱意と理解を高めていく必要がある。	資格にも種類があると思うので、時期が来れば選択制にしても良い。資格も「学び直し」に直結していければより良い。
資格試験不合格者の対策は	4 ③ 2 1	どういう状況で不合格となったのか、何が不足していたのか等を個別に点検しきれていない部分もある。	資格試験はある程度決まったパターンがあり、知識が身につけば合格はさほど難しいものではない。より具体的に個々の状況把握に努めていく。	級を取るためのコツと、本質的な部分を分けて考えた上で、上手く融合してやっていく必要がある。
評価は適切な方法で行われているか	④ 3 2 1			きちんと評価してあげて生徒たちの自己肯定感を上げていければ。

目標に到達しない生徒に対し適切なフォローがなされているか	4 3 ② 1	不登校生の場合、精神的な面で課題を抱えている子もおり、学習面でのフォローまで到達できていないケースもある。	教育と医療との範囲をしっかりと分別し、生徒への適切な対応を行う。
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	④ 3 2 1		

3. 生徒受入

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	4 ③ 2 1	生徒募集のメインは、パンフレット・チラシ・HP・中学校訪問であるが、数年に渡り、見学者・入学者が少ない地域がある。その原因がはっきりとはつかめていない。	見学には来たが、入学に至らなかった生徒の理由が知りたいところではあるが、聞き出すのは中々難しい。	通信制高校等の乱立の影響はどの程度出ていると感じるのか。
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	④ 3 2 1			合格発表の早期化（一部の学校では中学校を通さずに早々に本人に合格を出してしまう学校もある）への対応も必要か。
募集要項の内容は適切か	④ 3 2 1			Web 出願の対応はどうなっているか。
学校見学会の時期、内容は適切か	④ 3 2 1			
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	④ 3 2 1			

志願者状況、定員充足率はどうか	4 3 ② 1	今年度は見込まれていた入学者数を下回ってしまった。	見学者数は少なくなったが、入学に至る生徒が少なかった。ひとつの原因としては「毎日通わなければならない学校」という部分がネックになったと思われる。
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	④ 3 2 1		

4. 教職員組織

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	④ 3 2 1			
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	④ 3 2 1			何がともあれ人材確保がどの業界においても喫緊の課題である。専修学校は教員免許が必ずしも必要ないという部分をもう少しアピールできれば。
教職員の業務分掌は明確になっているか	④ 3 2 1			
教職員の能力、業務内容の評価を定期的に実施しているか	4 ③ 2 1	管理者が定期的に各々の教員と面談をし、資質向上に向けて具体策を助言しているが、まだ不足も目立つ。	継続的に行っていくしかない。	

教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4 ③ 2 1			
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	④ 3 2 1			

5. 施設・設備等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1			現状の箱をいかに有効に活用していくかを考えていくしかない。
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4 ③ 2 1			
実習設備は整備されているか	4 ③ 2 1	理科実験室・家庭科室などが望まれるが、現状としては困難。	安全面等を第一に考え、可能な範囲で整備していく。	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1			物の管理も徹底して、物が壊れないような管理体制を確立していくのは大事だろう。
生徒が自学自習できる教室を有しているか	④ 3 2 1			
保健室は適切に整備されているか	④ 3 2 1			

教育用機器備品は整備されており活用されているか	④ 3 2 1			
職員室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1			
事務室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1			

6. 生徒生活支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	④ 3 2 1			やはり人と人のコミュニケーションこそこの学校の真骨頂であろう。その時間を今後とも大事にして欲しい。
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	④ 3 2 1			
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	4 ③ 2 1	巨大地震が起きた場合、災害対策が万全とは言い切れない。	少しでも想定外を減らし、常に危機意識を持つ。	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4 ③ 2 1	生徒の特質上、経済的に進学が無理となった場合、企業への就職内定に至らないケースがある。	それぞれの価値基準があるので、新卒で内定、という事が全てではないが、社会とのつながりを求める姿勢は育てていきたい。	

7. 管理・運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切 …1	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	④ 3 2 1			
個人情報保護法を遵守しているか	④ 3 2 1			
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	④ 3 2 1			セクシャルハラスメントに限らず、ハラスメントに対して注意喚起をやっていった方が良いだろう。

以上、本校の教育研究活動等の状況について報告します。

静進情報高等専修学校自己点検・評価委員会 委員長